

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通調査等事業)

平成28年4月13日

協議会名:山陽小野田市地域公共交通会議

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画等の 計画策定に向けた方針
<p>【調査事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口分布、人口増減、高齢化、立地施設(公共施設・医療機関など)の現況調査</li> <li>・バス乗降調査</li> <li>・市民アンケートの実施 (公共交通の利用状況、ニーズ把握など)</li> <li>・地域公共交通網形成計画案の作成</li> </ul> <p>【調査結果の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GISを活用し、高齢者率、人口増減、バス停別の利用者数や公共交通不便地区の抽出など市内地区ごとの現状を把握した。</li> <li>・市民の鉄道・バスの利用頻度、公共交通サービスの改善点等について実態把握を行った。</li> <li>・市全体の公共交通の現状及び課題を整理し、まちづくり等に寄与する持続可能な公共交通サービスを実現するため、本市が目指す公共交通役割や交通ネットワークの将来像・方向性について検討を行った。</li> <li>・地域公共交通会議を5回開催し、山陽小野田市地域公共交通網形成計画(素案)を作成、パブリックコメント実施を行い、計画を策定した。</li> </ul>	<p>A</p> <p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>①効果的、効率的な公共交通網 地域資源を活かし、幹線・支線それぞれが地域移動ニーズに合った、持続可能な公共交通網を整備します。</p> <p>②わかりやすく利用しやすい公共交通 既存の利用者をつなぎとめるとともに、新たな利用者を開拓するため、わかりやすく利用しやすい公共交通の環境を整備します。</p> <p>③みんなで支える公共交通 市民、企業、沿線施設、交通事業者、行政等、公共交通により利便を受ける全ての主体が協働・連携し、みんなの力で公共交通を支えます。</p>